

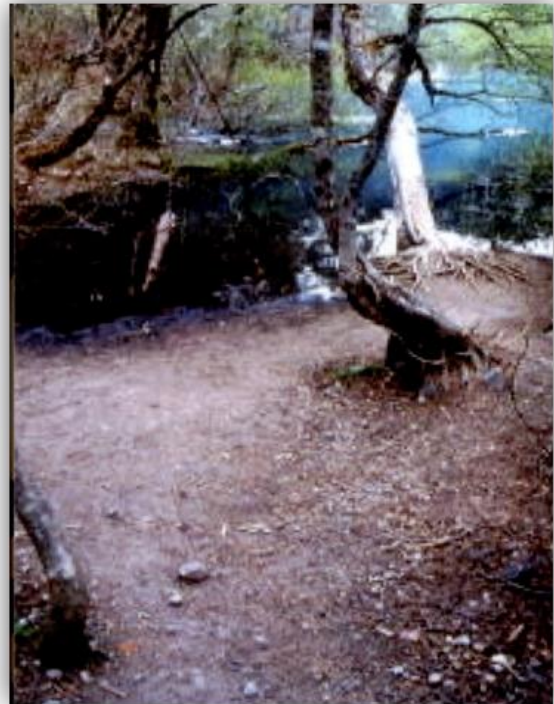
自然と人間 環境問題

2年1組 19番 N.H.

私は、環境問題について、調べていました。実際に自分の目で見たいと思いました。裸地化は、人間のせいで出来てしまったものなので、すごく興味を持ちました。

《1日目「環境問題 自然を守る」》

1日目は、五色沼へ行きました。五色沼は3回目ですが、裸地化や環境問題に気がついたことは、1回もありませんでした。でも、ネイチャーガイドの桑原 信先生の説明で色々なことが学べました。川や湖の岸は特に裸地化が進んでいました。観光客が、川や湖の水を触ろうとして、道ではないところに平気で入ってしまい、植物が裸地化してしまっていました。そこにはロープが貼られており、「生育植物」という看板がありました。川や湖の岸边などの裸地化により、雨が降った時には沼土が沼に流れ込むようになってしまいました。ほかには、雨によって土がぬかるんでしまい、観光客がそれをよけて歩き、また違うところが裸地化してしまいます。その繰り返しで裸地化が広がり裏磐梯の自然が少しずつ少しずつ破壊されていっています。(五色沼裸地化↑)木の根っこがむきだしになってしまったりもしています。



最後のほうに、遠藤現夢のお墓へ行きました。遠藤夢現とは裏磐梯の命の恩人といっても過言ではありません。磐梯山の噴火によって、荒地のままだった裏磐梯を野鳥のさえざる森にしたいと思い約2年かけてたくさんの植物を植えました。植物に関する知識は、中村弥六の協力をえました。それで、アカマツ・ウルシ・スギ3種類の苗木10万本を植えました。遠藤現夢入口という標識から350mほど山道を入ると巨大な噴火岩の上に現夢の墓ときざまれています。遠藤現夢の墓は本人が生前に作ったものです。裏磐梯は遠藤現夢さんの頑張りでできた山なのですごいなあと感じます。これからもこの自然をずっと守り続けていけたらいいなと思いました。

《2日目「雄国山 山頂を目指そう☆」》

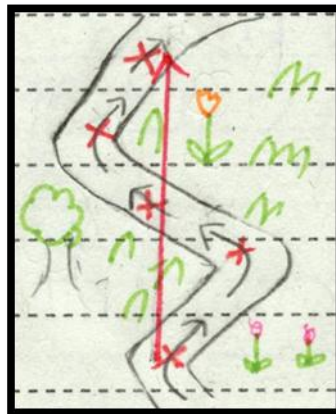
2日目は、磐梯の山頂を目指すということでしたが、雨のため雄国山の山頂を目指すことになりました。私は、磐梯山の環境問題、食物を勝手に抜いたり、外来種の植物が増えたりしている問題を調べていました。その例をあげると「オオハンゴンソウ」というお花です。

(オオハンゴンソウ→)

北アメリカ原産のものです。特定外来生物に指定されています。在来種は「ハンゴンソウ」です。私が雄国山を歩いていてオオハンゴンソウはよく目にしましたがハンゴンソウはあまり見ませんでした。裏磐梯の人達もオオハンゴンソウの除去活動を5年前から



行っていますがいっこうになくならないとの話です。他にもたくさんの外来植物があります。このような環境問題を調べました。もう1つはやはり裸地化です。雄国山と裏磐梯の裸地化はひどかったです。雄国山の裸地化はもろ自然を踏みつぶすということです。ただでさえ自然の中から登山道をもらっているというのに近道をして新たな道を作ろうとしてしまっている人達が増えてきました。図にすると…



↓1、こういう急でくねくねした坂道

←2、登山道ではなく近道として直線に歩いて自然を踏みつぶしている

今ではロープが張られています。ですが、まだそのあとが見られます。

今回の自然体験学習で実際に自分の目で見ること

私が今まで調べてきたことを、

ことができました。本などを使って調べるよりも頭に入ってきて、すごく勉強になりました。

《人間と虫》

他にも私が調べていないことなども詳しく教えていただきました。虫の話です。山の無人トイレに行った時に、虫が床や壁、便器の中などに大量発生していました。だから私たち女子は騒いでしまいました。するとネイチャーガイドの先生に「ここは、もとはと言えば、虫のすみかです。そこに人間がトイレなどの施設を勝手に作ったから虫がいるのは、当たり前」と言われてしまいました。それで私はいろいろなことを思いました。人間が悪いのに虫を嫌がっているなんてバカだなあ・・・などと思いました。私は、心の中で虫に、謝



りました。山に登るときは、マナーだけでなく自然や虫を思う気持ちも大切だと思います。

(←山の斜面の裸地化)

《3日間を通して》

私は、3日間自然に触れて、環境は人間が作ってしまっているものだなと思いました。自然の中に人間が入り、自然が壊れてしまう。自然はもろいものです。それを壊すなんて、ひど

いと思いました。これから先、私達は自然にたいしてどのようなことを行っていくのか考えていくべきだと3日間を通して思いました。例えば登山道以外の道は歩かない、など今以上に厳しいルールを作ればいいと思います。もう少し自然のことを考えてほしいです。自然はつらいと思います。人間に踏まれ、抜かれ・・・。これから自然というものを大切に扱ってほしいです。